

令和2年度 決算のお知らせ

収入総額	63億 1,398万 3千円	(経常収入 54億 676万 9千円)
支出総額	53億 1,857万 9千円	(経常支出 52億 4,554万 1千円)
決算残金	9億 9,540万 4千円	(経常収支差引額 1億 6,122万 8千円)

健康保険

当健保組合の令和2年度決算は、収入総額63億1,398万円、支出総額53億1,858万円となり、収支差引では9億9,540万円の残金が生じました。実質的な収支状況を示す経常収支差引でも1億6,123万円の黒字となりました。これは、今なお世界中で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症の渦中における受診控え等による保険給付費の一時的な減少によるもので、健保財政の見通しは依然として厳しい状況にあります。

健保組合の主な収入源である保険料は、53億1,908万円（前年度比2,203万円減）となりました。

一方、主な支出は、皆さまの医療費にあてられる保険給付費24億5,445万円（同3,775万円減）、高齢者医療制度への財政支援にあてられる納付金23億28万円（同566万円減）となりました。

令和2年度は一過性の支出減により黒字決算となりましたが、健保財政は今後、一層厳しさを増すものとみられています。2022年以降は団塊の世代が後期高齢者へと移行しはじめ、2025年には日本の人口の4人に1人が後期高齢者という超高齢社会を迎

え、支え手である現役世代の負担はさらに増大することが見込まれています。

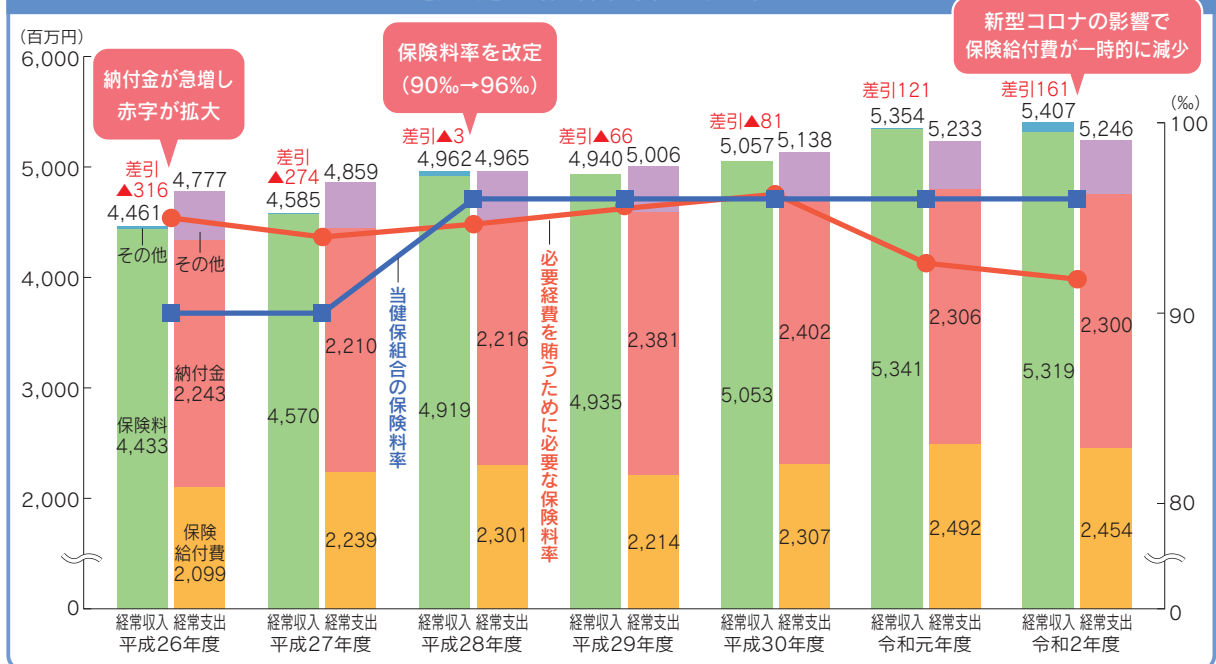
当健保組合におきましては、中長期的な収支改善に向け、一段と踏み込んだ疾病予防策が必要になっています。健診や人間ドックの受診率向上によるスクリーニング機能の強化をはじめ、健診後の保健指導などの重症化予防を一層推進してまいります。

皆さまにおかれましては、健診や人間ドックなどの保健事業を積極的にご利用いただき健康管理にお役立ていただきますとともに、医薬品はジェネリックをご選択いただくなど、引き続き医療費の適正化にもご協力ください。

決算基礎数値 決算の基礎となった数値は次のとおりです。

被保険者数	10,962人
被扶養者数	6,488人
標準報酬月額	344,344円
総標準賞与額	115億866万円
保険料率(調整保険料率を含む)	96/1000

【参考】当健保組合の財政状況



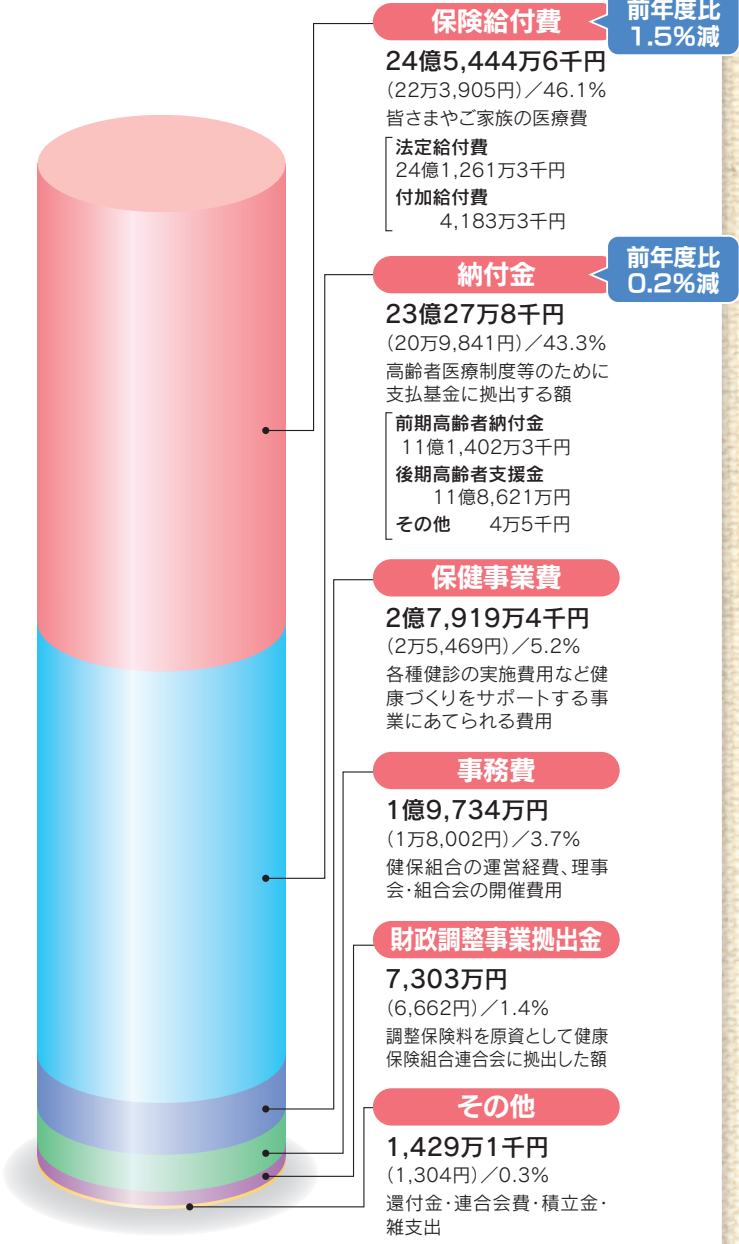
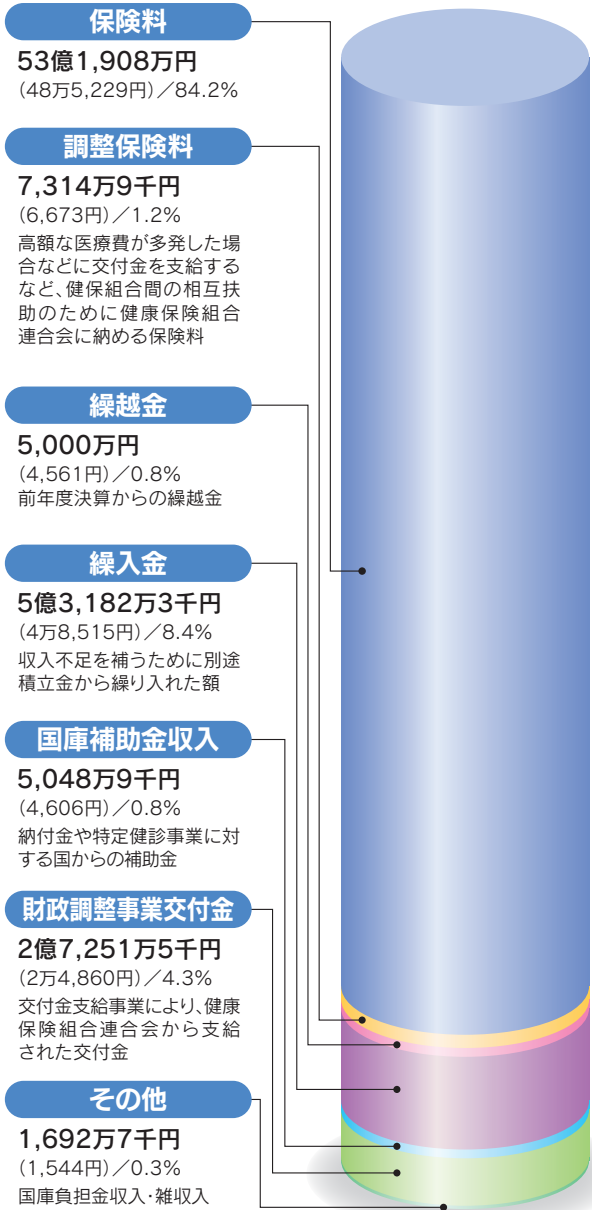
収入

収入総額 63億1,398万3千円 (57万5,988円)

支出

支出総額 53億1,857万9千円 (48万5,183円)

()内は「被保険者1人当たり額」
%は「総額に対する割合」



介護保険

健保組合では、40～64歳の被保険者（介護保険第2号被保険者）から介護保険料を国に代わって徴収し、国に納付しております。

令和2年度は、国に納める介護納付金5億5,897万円に対し、介護保険収入5億3,664万円となりました。収入不足が生じたため、準備金からの繰入金で補てんしました。

収入

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	536,640	97,606
繰入金	70,000	12,732
国庫補助金受入	1,755	319
雑収入	5	1
合計	608,400	110,658

支出

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	558,973	101,668
介護保険料還付金	98	18
合計	559,071	101,686